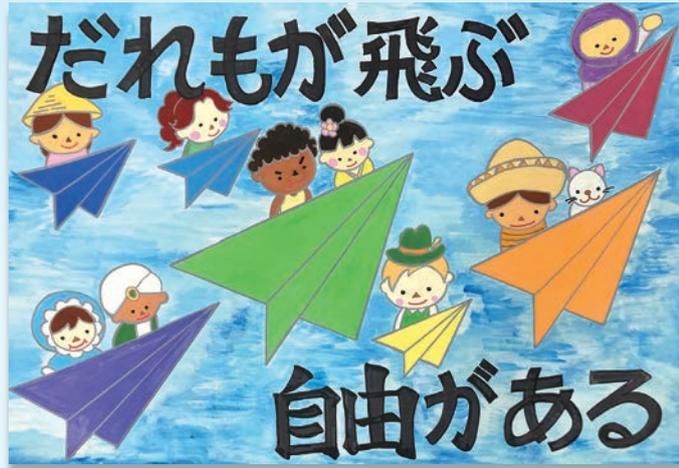


2025年度

小学生・中学生の **人権作品集**

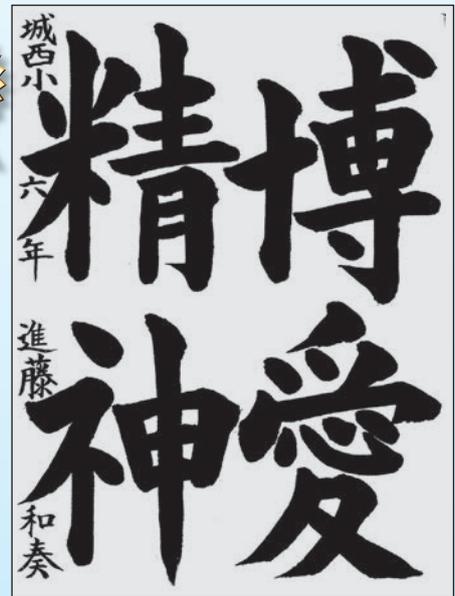
な か ま



郡家小5年 むらた はるき
村田 陽基



西中3年 みずたに ゆづき
水谷 優月



城西小6年 しんどう わかな
進藤 和奏



標語 住みたいな だれもが「らしく」 いられる社会

飯山中1年 しなだ とうま
品田 翔真

優 秀 作 品



綾歌中1年 峰本 莉子
みねもと りこ



本島中3年 北脇 茜
きたわき あかね



飯山中3年 高尾 あやめ
たかお あやめ



南中1年 楠井 美咲
くすい みさき



東中3年 喜多 栞弓
きた しおみ



西中1年 越智 虹晴
おち なせ



広島中1年 清沢 王惺
きよさわ おうせい



岡田小5年 田中 英佑
たなか えいすけ



本島小2年 西山 郁睦
にしやま いむ



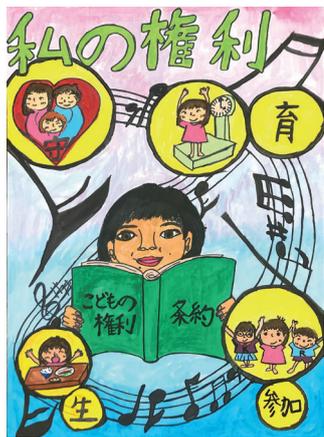
郡家小2年 茨木 瑛心
ばらき えいしん



栗熊小1年 山下 瑛大
やました えいと



城辰小6年 村上 柚香
むらかみ ゆずか



富熊小6年 たかお なな
高尾 梨七



飯野小4年 たかしま えみり
高島 えみり



飯山北小2年 さわだ あさひ
澤田 明紗妃



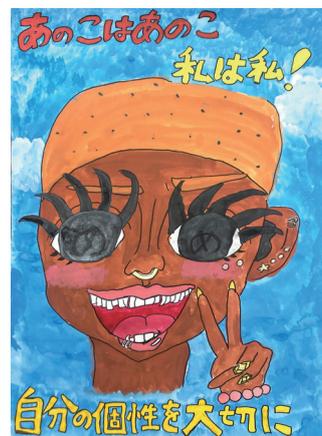
城南小6年 わたなべ あきと
渡邊 晃翔



城東小3年 うちぼり はやと
内堀 颯翔



城西小4年 わたべ ゆき
渡部 結稀



城坤小5年 くぼい いと
久保井 紘



垂水小3年 みやい ゆづき
宮井 柚月



飯山南小2年 かかわ みこと
香川 美琴



城北小3年 むねもと ゆうしん
宗本 優心

①障がい者のための国際シンボルマーク

障がい者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。

このマークは「すべての障がい者を対象」としたものです。特に車椅子を利用する方に限定し、使用されるものではありません。

②ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。

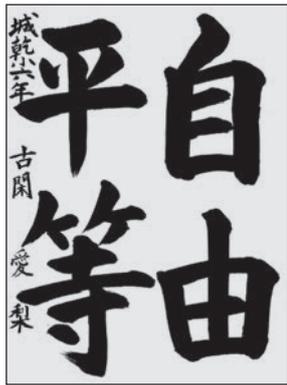
ヘルプマークを身につけた方を見かけたら、席を譲ったり、状況に応じて声をかけたりするなどの配慮をお願いします。また災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。

③ほじょ犬マーク

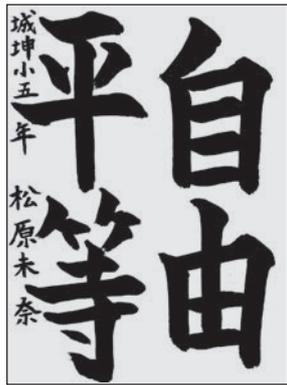
身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。身体障がい者補助犬とは、身体に障がいのある人の目や耳、手足となって働くよう訓練された盲導犬・介助犬・聴導犬の総称です。

公共施設や交通機関、スーパー、レストランなどの民間施設は、補助犬同伴を受け入れる義務があります。補助犬はペットではありません。社会のマナーもきちんと訓練され、衛生面でもきちんと管理されています。法律や補助犬へのご理解とご協力をお願いします。

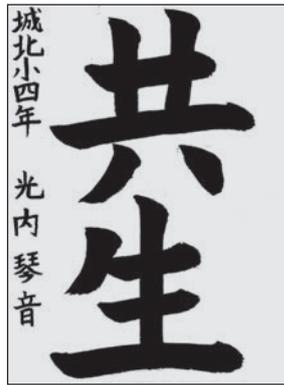
優秀作品



城乾小6年 古閑 愛梨



城坤小5年 松原 未奈



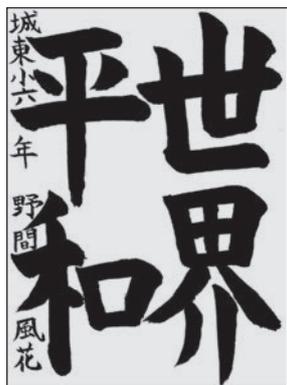
城北小4年 光内 琴音



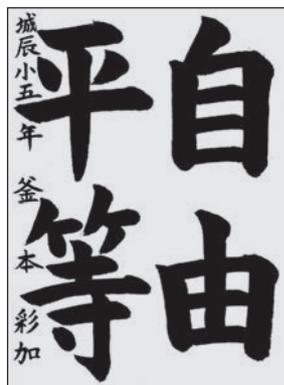
城西小4年 渡部 結稀



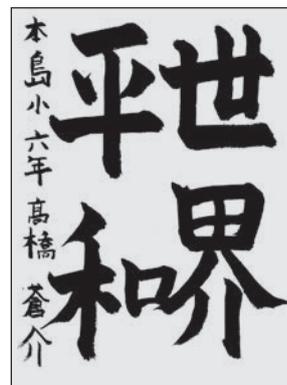
城南小6年 小山 瑛士朗



城東小6年 野間 風花



城辰小5年 釜本 彩加



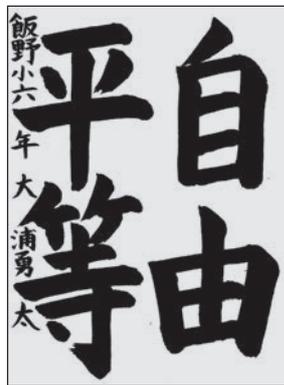
本島小6年 高橋 蒼介



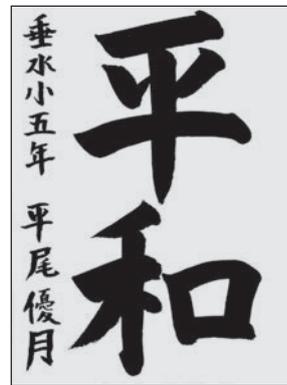
広島小5年 清沢 利南



郡家小6年 吉崎 愛



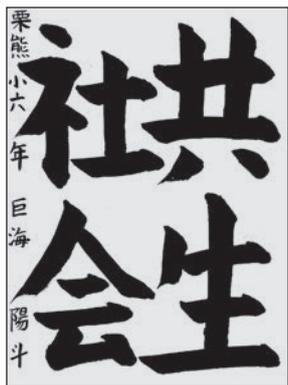
飯野小6年 大浦 勇太



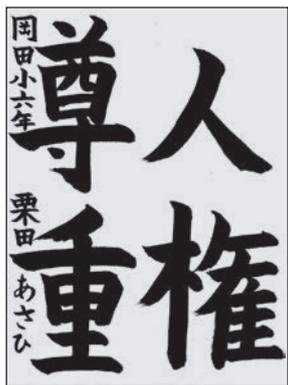
垂水小5年 平尾 優月



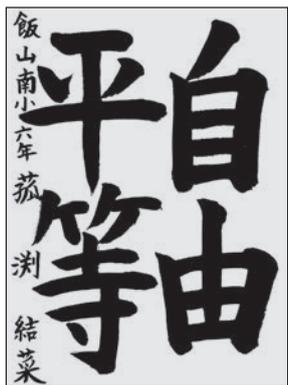
富熊小6年 三谷 凜華



栗熊小6年 巨海 陽斗



岡田小6年 栗田 あさひ



飯山南小6年 結菜



飯山北小4年 尾崎 梨緒奈



私の思う「いいよ」の意味

城辰小 六年 石井 涼菜

「すずなちゃん、何でも『いいよ、いいよ』って言うね。いいよいいよ星人やん！」私は、友達にこう言われたことがある。休み時間に遊ぼうとさそわれると、いいよと言うし、パソコン取ってと言われたら、いいよと応える。家に帰って、母にこの話をする、嫌だった嫌って言ってる？」と、聞かれた。私は少し考えてから、「断つたらさー、相手が嫌な気持ちになるやん。」と、返事した。すぐに返事できなかつたのは、学校で『やさしい学校』を合言葉に、思いやりのある行動を学んでいるからだ。嫌と断ることは、その思いやりとは反対のことだと思っから悩んだ。「ああ、相手の気持ちを考えられて、優しいね。」と、ほめてくれた母がまだ続きがあった。「そこにはさー、嫌われたらどうしようって思う思いはない？」と。母は、私が友達の気持ちを優先させるために、自分の気持ちを抑えているのではないかと、心配したようだ。確かに、友達の反応や友達からの見られ方を気にして、いい子でないさや…と思い、自分の気持ちを我慢して相手に合わせることもある。母の言葉はささったが、じゃあ、思いやりって何？我慢せんでいいってこと？と、同時に思った。

やなせたかしさんのモットーが聞こえてきた。すぐにアンパンマンが思い浮かんだ。困った人に自分の顔を与えるアンパンマン。そこには、嫌われたくないからとか、周りからの見られ方を気にする様子は全くない。目の前の困った人に対して、今の自分がしてあげられることをしている。自分の気持ちを抑えて何かをするのではなく、ただ単純に相手が喜ぶことは何か？という意識をもてばいいんだと、気がついた。そういうマインドにチェンジすることこそが、思いやりなのではないかと、考えさせられた。

アンパンマンの思いやりは連鎖する。自分の顔を与えたアンパンマンは、力が無くなるけれど、すぐにジャムおじさんが新しい顔を焼いて届けてくれる。アンパンマンは、ジャムおじさんに優しさを与えてもらっているから、別のだれかへ優しさをもたらせるんだと思う。いいよいいよ星人と言われる私も、困ったときに相談して助けてくれる友達がいる。支えられているから『いいよ』と受け入れられる気もする。

自分が大切にされた分、今度はだれかのことを大切にできる。優しくなれる。そんな、優しさの連鎖が広がっていくように、『いいよ』を心がけていきたい。それが、私の思う『いいよ』の意味だと思っ。



大島に行つて感じたこと

綾歌中 一年 平石 葵音

最近、私はインターネットでハンセン病についての記事を見かけました。そのときふと、小学校の時に授業で習ったことを思い出しました。その後、家族で大島に行つたことも。

高松港から船にのつて二十分ぐらいで港に着き、一番目に飛びこんできたのはたくさんの松の木でした。そしてすぐに耳に入つてきたのは心地いいオルゴールの曲でした。本当にこの場所で、授業で習つたような悲しいことがあつたのかな…と思わせるぐらい静かできれいな場所でした。すると、こえび隊という方々が島を案内してくれました。今この大島には、三十七名の入所者が住んでいて、平均年令は八十七さいだそうです。ハンセン病が進行すると目が見えなくなつてしまふ人が多かつたため、島にはたたくさんの工夫がされています。周りを見ると、いろんな所にさくが

ありました。これはもう導さくと言つて、ついで道を確認したり、段差などから落ちないようにするためのものです。歩き進めていくと、道の真ん中に白線があることに気づきました。私には車道の真ん中を歩いているような感覚でしたが、これはもう導線といつて、視力の弱い人にも分かりやすくするための線です。そしてどこに行つても、最初に聞いたオルゴールが鳴っているのです。一つ一つ見ていくと、建物の前や分かれ道にスピーカーがあり、そこから流れていました。これはもう導線といつて入所者が、移動する時の目印になつているそうです。流れている曲は二曲あり、

「ふるさと」と「おとめのいのり」です。何十年も島にくりかえされた話を聞きながら、私はふと思つたのです。帰りたくても帰れないふるさとがある入所者が、この曲を聞いてさらに辛くならないのだろうか。実際に聞くことはできませんでしたが、私は心がしめ付けられたのです。

島ではたたくさんの作品があり、中でも特に印象的だつたのが「Nさんの人生・大島七十年」です。ふるさとを離れた時、入所して強せい労働させられた時、予防服で薬をわたされた時、結こんしても子どもを産むことが許されなかつた時の様子など各部屋に表わされていました。「すんぐ治つて帰れると思つちよつた。けんど母はどこまでもおわえてきた」このお母さんの姿から、もう家には帰れないことが想像できて、NさんやNさんのお母さん両者共にとても悲しいことだと心が痛くなりました。

昭和二十四年から治りよう薬が使われるようになったのに、らい予防法がはい止されたのは平成8年。どうしてこんなに時間がかかつたのでしょうか。はい止されて二十九年経つた今も、全国のりよう養所で生活している人がたくさんいます。実際大島に行つてみて、私が知らなかつたことがたくさんありました。私にできることは、正しい知識を身に付け、国や社会が元かん者さんやその家族にしてきた偏見や差別をふり返り、入所者がどうやって生きてきたかを知ることだと思ひました。そしていつかだれもいなくなつたとしても、私はまだ大島に行つてみたいと思ひました。

優秀作品

【作文】小学生

私の姉	城乾小6年	こが まり 古閑 愛梨
私のねがい	城坤小4年	きい みなか 喜井 美仲
悪口から気付いたこと	城北小4年	こうざい みどり 香西 碧
外国人差別について	城西小5年	おおにし たくま 大西 巧真
中国の生活で感じたこと	城南小3年	みやがわ ちほ 宮川 智帆
友だちっていいな	城東小2年	ありぞの はる 有園 永
友だちが鬼にならないために	城辰小4年	たおか はな 田岡 花
わたしのみらい	本島小3年	すぎおか さつき 杉岡 咲月
みんなやさしいね	広島小2年	ひだ あいと 緋田 愛翔
こうれいしゃにやさしく	郡家小2年	ずし あおい 圖子 葵
男だから、女だから、ではなく	飯野小6年	わたなべ ゆいな 渡邊 結菜
人権って何だろう	垂水小5年	いのうえ はるひと 井上 晴仁
沖縄旅行で学んだこと	富熊小6年	たかお なな 高尾 梨七
分かろうとする気持ち	栗熊小5年	おおた ちなみ 太田 千南
みんなの心ポカポカ大作戦	岡田小2年	ぼんどう こうき 坂東 昊樹
声をかけるゆう気	飯山南小2年	あきやま みさき 秋山 実咲
私の兄	飯山北小6年	おおさわ あいり 大澤 愛梨

【作文】中学生

私たちの人権	東中1年	とよしま りん 豊嶋 凛
多様性を認める社会	西中2年	いけぐち りんか 池口 凛香
認め合い、助け合おう	南中2年	たきぐち りお 瀧口 莉央
多様性を認められる	本島中2年	くぼた かえ 窪田 花笑
「好き」にこだわる	綾歌中3年	こうの さら 河野 咲良
自分らしく生きる権利	飯山中2年	もり みく 森 美虹

【標語】中学生

画面越し 相手にはなった侮辱文 気分爽快でも きっと後悔	東中1年	すぎき ねね 鈴木 ねね
些細な感謝 きっと誰かの 笑顔につながる	南中3年	みやがわ な 宮川 愛禾
今日のなかまも 明日のなかまも 大切に	本島中2年	すぎおか さわ 杉岡 咲羽
考えよう ネットではなつ 言葉の矢	広島中2年	いくた ももえ 生田 桃愛
みんないっしょ? いやちがう、みんなちがう	綾歌中3年	みやたけ けん 宮武 建都
広げよう 「個性」という名の	あたたかさ 飯山中2年	さわだ りつか 澤田 立夏

日頃、子どもたちが一生懸命取り組んでいる人権学習の成果を発表していただくために、今年も市内の小学生・中学生から人権作品を募集し、ポスター112点、習字83点、作文50点、標語31点の応募がありました。

どの作品にも、人権尊重と差別解消を強く訴える姿勢がうかがわれ、また、日常生活において日頃考えていることや、直接感じた人権問題が若い感性を通して表現されています。

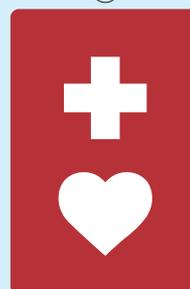
そのなかの会長賞と優秀作品を紹介いたします。

知っていますか?
このマーク

①



②



③

